

島根県消防学校だより vol.17



『消防学校だより』に寄せて

校長 堀江 剛

平成29年4月10日、今年も県内消防本部で新規採用となった若者36名が、期待と不安を胸に抱き消防学校の門をくぐりました。

彼らは、これから約8ヶ月間に消防士として必要な基礎知識、基礎体力及び技術を本校で学びます。その間、寮で共同生活をしながら、人としての「ルール」、「マナー」や「思いやり」も養っていきます。

教職員一同、学生達を「社会人」として「消防士」として一人前に育てていきたいと思えます。この消防学校だよりの起稿を始めた6月上旬には、初任総合第57期生36名は、警防、救助、救急の基本訓練を終え、実技訓練に入ります。また、4月初旬に消防大学校（東京）へ入校していた田中教官も帰ってきました。これからのよいよ本格的な訓練が始まります。初任総合教育第57期生のスローガンは「NO PAIN NO GAIN～鍛錬無くして、得るもの無し」です。この言葉どおり、苦しい思いをし、踏ん張った者が消防人として大きく成長できます。第57期生全員が大きく成長することを期待します。

初任総合教育 第57期 『入校式』



入校式当日、緊張の中、学生達は真新しい制服を身にまとい式典に挑みました。

式典では、堀江校長から「皆さんはまず、消防精神を学ぶこと。消防精神とは、公に尽くす心、生命の安全を尊重する心、人を愛する心を持って仕事の達成に努力すること。」との式辞があり、学生を代表して松田学生(松江消防)が宣誓書を読み上げ、入校中の決意を誓いました。その後、島根県防災部長の岸川様、島根県消防長会会長（松江市消防長）菅井様からそれぞれ祝辞を頂き、式典は滞りなく終了しました。

総代・副総代



総代 月森 晃太（江津消防）

57期生は、若さ溢れる元気と気力、体力、ヤングパワーで日々の訓練に励み、地域の方々に信頼され愛される消防士を目指しています。



副総代 松田 優一（松江消防）

57期生を総代と共にまとめ、11月21日笑顔で卒業できるよう精一杯頑張ります。



副総代 日野 健太（出雲消防）

総代のサポートをし、学生の手本となり、現場では即戦力になれるよう、元気・やる気・57期で頑張ります。

初任総合教育 第57期 学生紹介

【松江市消防本部】



消防学校での8ヶ月間で消防士として必要な知識・技術を身に付け、即戦力として活躍できるよう切磋琢磨しながら頑張ります。

【浜田市消防本部】



一日でも早く一人前の消防吏員となって、地域に貢献できるよう、仲間達と切磋琢磨して訓練に励んでいきます。

【出雲市消防本部】



消防学校で、知識・技術を身に付け安心・安全な街づくりに貢献できるよう日々精進します。

【益田広域消防本部】



全員で協力し、約8ヶ月間の訓練で消防士として必要な知識・体力・精神力を身につける為、努力を惜しまず頑張ります。

【大田市消防本部】



今年は大田から一人ですが元気を出して即戦力となるよう頑張ります。

【安来市消防本部】



二人ですが、若さと元気で57期の仲間と共に、日々の生活や訓練に一生懸命取り組みます。

【江津邑智消防本部】



一番の若さを誇る消防本部として、訓練に積極的に取り組み、学校全体の士気を上げ、学んだことを十分に発揮し、住民の皆様の役に立てるよう取り組んでいきます。

【雲南消防本部】



57期の仲間と切磋琢磨し、共に高め合いながら消防人としての基礎を身につけ、住民の方々の安全・安心をしっかりと守れるよう、日々精進していきます。

訓練車両紹介



昨年度末、松江市消防本部から資器材搬送車と救急車、出雲市消防本部からタンク車、江津邑智消防本部から救助工作車(救助資器材積載)を寄贈していただきました。島根県議会事務局から譲受けたバスと合わせ、より機動性を持って充実した訓練ができるようになりました。

島根県消防学校

〒690-0046 島根県松江市乃木福富町735-157

E-mail: syobogako@pref.shimane.lg.jp

Tel: 0852-22-0166